



小川 隆史議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** フリースクールは必要か

**A** 子どもの状況に応じて支援する  
フリースクールは必要



その他の質問

- ・事務分掌条例の一部改正について
- ・保育関連施設職員の働き方改革について

**Q** 本市の不登校の状況は。

**A** 令和3年度の小中学校の不登校児童生徒数は314人で、10年前の2倍超である。

**Q** フリースクール等を学校以外で教育を受ける機関の選択肢の1つとして必要性を認めているか。

**A** 不登校児童生徒への多様な学びの機会確保の観点から、学校以外にも、子どもの状況に応じて支援を受けられる体制を整える必要がある。フリースクール等はその一翼を担っていると認識しており、連携・協働は必要であると考えている。

**Q** フリースクール等に対する公的支援の考えは。

**A** 運営団体が1つの市町区域を超えて広域に不登校児童生徒を受け入れていることもあり本市単独では支援が難しく、県に対して補助制度の創設を要望している。



▲市内京町にあるフリースクール



林 利幸議員  
福祉病院教育常任委員会

**Q** 高専誘致が叶わなかった4haの土地は今後どうなるのか

**A** 庁内で当該土地の利活用に向けた誘致活動を進めている



その他の質問

- ・都市計画公園について
- ・稲枝駅西口へのアクセス道路整備について
- ・コロナ禍の教育行政について

**Q** 県は高専の設置場所を野州市旧野洲川に決定したことを公表したが、この結果をどのように受け止めたか。

**A** 地元や彦根商工会議所、稲枝商工会などあらゆる機関や団体にご協力いただき提案書やプレゼンテーションにおいて最大限に提案地の魅力をアピールしてきたので非常に残念だ。

**Q** 誘致が叶わなかった4haの土地は今後どうなるのか。このまま放置されることがないように強く求めるが、市の考えは。

**A** 今年度末にかけ県が行っている市街化区域編入についての基礎調査結果を踏まえ、市街化区域への編入の可能性や方向性を探っていく。同時に地元からの要望もあるので、庁内においては当該土地の利活用に向けた誘致活動を進めている。



▲誘致が叶わなかった高専の彦根市提案地



谷口 典隆議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 物価高騰を受け高齢者世帯などへの新たな支援策を講じては

**A** 一応、高齢者世帯の50%が現事業の対象となっており考えはない



その他の質問

- ・彦根市の夜間警備と防災対策の現状は
- ・京橋交差点や護国神社前交差点などへの右折矢印信号の設置は

**Q** コロナ禍や物価高騰を受け、高齢者世帯をはじめ年金生活者への新たな支援は。

**A** 現在実施している電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金は高齢者のみの世帯のうち、約50%が対象となっており、高齢者への一定の支援が行われていると考え、新たな支援策は考えていない。

**Q** 50%をカバーできていればよいという根拠はあるのか。

**A** 一応、半数を占めるので一定の支援が行われていると考えている。

**Q** 高齢者世帯の50%をカバーしているから新たな施策を打たないという理由は根拠として乏しいと考える。過去の知見を生かした高齢者でも使いやすいカタログチョイス事業などの実施は。

**A** 今後、より効果的な時期に効果的な経済対策を実施したい。



▶ 高齢者からはカタログチョイス事業など使いやすい支援が求められるが…



北川 元気議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 子どもの医療費無償化の新たな対象は

**A** 6歳から12歳(小6)までに拡大



その他の質問

- ・2022秋のひこにゃん大躍進！について
- ・元素騎士Online-META WORLD-とのパートナーシップについて

**Q** 彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例改正趣旨は。

**A** 子育ての環境および子どもの保健の向上ならびに児童福祉の増進を図るため、通院医療費の助成の対象年齢を現在の6歳から9歳までを6歳から12歳までに拡大するもの。

**Q** 新たに医療費が無償になる子どもの人数は。

**A** 滋賀県のホームページで公開されている統計によると、令和4年5月1日現在で3,088名。

**Q** 医療費助成拡大にかかる予算は。

**A** 扶助費、手数料、合わせて約6,700万円の予算が新たに必要になる見込み。

**Q** 和田市長の選挙公約で多くの市民が待ち望む中学生の医療費助成は。

**A** まず小学6年生までの無償化だが、2年後の令和7年度から中学生の無償化にも取り組めるよう行財政改革に取り組んでいきたい。



▲通院費が無償になる子どものイメージ写真





黒澤 茂樹議員  
福祉病院教育常任委員会

**Q** JR稲枝駅に市営駐輪場を早急に設置すべきではないのか

**A** 駅西側に早期に駐輪場を整備する必要があると認識している



その他の質問

- ・一人暮らし高齢者に対する市の支援策や対応方針は
- ・企業版ふるさと納税の取組は
- ・新たな財源確保の取組は

**Q** 市内、他のJR駅同様に稲枝駅の東西に市営の駐輪場を早期に設置すべきと考えるが市の見解は。

**A** 駅西側の駐輪場整備については、利用される皆様が快適に使用して頂けるよう、早期に整備する必要があると認識しているが、駅東側に新たな駐輪場を整備する予定はしていない。

**Q** 早期とは具体的にいつ頃か。

**A** まずは財源確保が必要と考えており、どのような手法で事業を進めるかなどの整備計画を練り、見通しが立ち次第、事業化に向けて着手したいと考えている。完成時期は現時点では明確に答えられないが、駐輪場の需要も増えており一日でも早く整備ができるよう鋭意努力する。

**Q** 令和5年度中の建設はできないか。

**A** 現在、関係機関と協議中であり令和5年度中の建設は困難と考えている。



▲JR稲枝駅西側臨時駐輪場



安澤 勝議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 鳥居本地先国道8号沿線の歩道設置進捗状況は

**A** 鳥居本駅より北側・南側ともに令和6年度の完了を目標



その他の質問

- ・8号バイパス供用開始後の交通対策について
- ・8号バイパス彦根工区の着工時期について
- ・消防機関員の養成について

**Q** 国道8号線における鳥居本駅より北の歩道設置状況は。

**A** 鳥居本駅より北の歩道設置進捗状況は、土地所有者のご了解が得られた範囲について、歩道拡幅部分の用地幅杭の設置が6月に行われた。10月から用地測量を実施して、12月に土地境界立ち合いを予定している。

**Q** 鳥居本駅より南の歩道設置状況は。

**A** 鳥居本駅から南交差点までの区間は9月～10月で関係者の土地境界立会いおよび補償調査を完了した。南交差点からつるやゴルフ店側に向けた区間は、昨年度に土地の境界立会いが実施され、現在調査結果の取りまとめおよび境界確定協議書等を整理され、今後用地取得を進めていく。

**Q** 供用開始時期は。

**A** 北側・南側ともに令和6年度の完了を目標としているが、予算や用地取得状況により変更がある。



▲歩道整備が必要な鳥居本国道8号沿線